

調査・研修報告書（議員用）

報告者： 前田 智永

実施場所：三次市生涯学習センター	実施日：令和3年10月20日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 新人議員として全てにおいて知ることから始まると認識している。また、会派に属していないことから、個人的に先輩議員さんに教わると同時に、あらゆる研修や勉強会へ出向き、学ばなければならないと思っている。今回の研修内容である、議員の資質向上と議会運営の基本は、私にとって一番大切だと思い臨みました。長年議員を務めている議員と新人議員が混在している庄原市議会において、色々な視点から良いものは引き継ぎ、改革が必要なものは見直す良い機会だと感じている。	
■参考とすべき事項 憲法上、二元主義が採用されている地方議会において、二元代表制という言葉は再々耳にするが、議会内において、与党野党の機関競争関係は想定されていない。しかし、実際にはこれまでの庄原市議会では与党野党競争関係が随所に見られていた。今春の選挙による改選で新人議員が多くなり、現在ではそのような状況は見られないが、今後二元代表制の意義をしっかりと認識した議会活動をしていかなければならない。市民と語る会のように、市民に開かれ、市民とともに歩む議会にしていきたい。執行機関の追認だけでなく、自治体意思の決定機関の自覚を持ち、執行機関への質問だけでなく、議員同士の討議をしっかりとしながら、これまで以上に政策提言をしていく議会にしていかなければならない。通年議会については、本市においては、首長の勝手な判断による専決処分は見られず、臨時議会も開催されている。また、各委員会による調査や執行者からの説明も受けていることから、現状の会期制で良いのではないかと感じた。しかしながら、説明不十分であったり、予算決算等資料の見にくさは感じる。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） 議会改革度は情報共有、住民参加、議会機能強化による数値化されたものであり、広島県内においては、三次市議会が例年上位にある。良いところは取り入れ、本市議会においても改革すべきだと感じる。まずは傍聴のしやすさを研究したり、視察結果を現状より詳細に公開してはいかがでしょうか。 上覧にも記述したが、予算決算等資料を前年比等でどう変わったのか見える化出来れば良いと思う。	